

代表質問を始めるまで

袋井市議会では、平成24年度～平成26年度に議会改革特別委員会を設置して議会改革に取り組んできました。そのなかで、議会や議員が果たすべき役割を適切に担うことで「市民福祉の向上」に寄与することを目的に、市議会の基本的事項を定めた規範となる議会基本条例を制定し、平成27年4月から施行しています。

この条例において、議員は市長等に対して、会派を代表して質問を行うことができると定めており、この規定に基づき代表質問を行うものです。

緑風会 大場 正昭 議員

新年度予算編成

問 新年度予算編成の時期を迎えた。その基本的な考えは。

答 市総合計画に掲げた「子育て」「定住」「市民力」をキーワードに、▽未来を担う世代のすこやかな成長を育むまち▽信頼と協働でつくるだれもが誇りを持てるまちの3つの分野に重点的に取り組む。

問 補助金、負担金等の支出はどうか。補助金額等の見直しの考えは。

答 本年度は公益・公平性、必要性、効果性などの検証・評価を行い、「継続」「縮小」「廃止」などの方向性を定め、予算に反映していく。来年度予算編成では、前回の見直しの際の削減額2000万円を目標に、各補助金の効果や必要性を精査していきたい。

元気で活力ある袋井市に

問 若者が結婚・子育てしやすいまちをつくるための取り組みの充実を。

答 保育所の増設や、放課後児童クラブの対象年齢の引き上げ、「育ちの森」でのトータルサポート支援の実施、さらには、「子育て世代包括センター」で母子

保健の充実を図っていく。

問 (仮称)袋井南認定こども園の整備を進める考えは。

答 今年度から来年度にかけて、検討を進めていく。建設候補地は、園児にとって良好な環境、園規模に見合った敷地面積、交通の利便性を考慮し、慎重に選定していきたい。

問 浅羽中学校の建て替えを要望するが。

答 本年度中に、小中一貫教育の方針が定まることから、来年度には基本構想を取りまとめ、再来年度から基本設計に着手していきたい。

問 国際姉妹都市米国ヒルスポート市との交流は。

答 今後それぞれの特産物を活かした農業ビジネスを含めた経済交流や、中学生、高校生などの派遣による教育、文化等での交流など、時代に即した交流を進めていきたい。



子育て支援センターの様子

その他の質問項目

- ・鷲巣下地区等の土地区画整理事業実施の考えはどうか。
- ・宇川地区、三川地区等の企業立地調査の進捗状況は。
- ・浅羽海岸クリーンウエーブ地の松枯れ対策を望む。